

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

自然木を活かした庭づくりの提案をし、災害に強いだけでなく、物心両面で持続可能な家づくりに貢献する。また、植物に有効な微生物・菌類を活用し、強靱な土づくりの源となり安全・安心の社会の発展に貢献する。加えて従業員その他の関係者の満足度及び利益を高める経営を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	熊本の水資源の量の保全に取り組むため、一般住宅への雨庭の普及	設置件数 2023年→2件 2026年→20件
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢を問わない新卒者や転職者の採用	採用人数 2023年→1人 2026年→3人
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	人材育成、技術育成等の研修を行い、社内試験を継続	研修、試験数 2023年→5回 2026年→5回

<パートナーシップ>

熊本県立大学と雨庭に関する共同研究を継続しており、2023年5月に熊本県が設立した「雨庭パートナーシップ」に参画している。2030年までに2030か所の雨庭を整備するという目標に少しでも貢献できるように、日々活動している。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	事業所内に節水器具を2台、LEDの取付を促進させたことにより、目標は達成できた。	設置率 2020年 0% →2023年 50%	2021年 10% 2022年 20% 2023年 50%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	県内の新卒学生への雇用促進を行い、目標は達成できた。	雇用人数 2020年 1人 →2023年 2人	2021年 1人 2022年 0人 2023年 2人
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人材育成、技術育成等研修(教育項目を策定)を行い、社内試験を発足させたことにより、目標は達成できた。	研修、試験数 2020年0~1回 →2023年2回以上	2021年 1回 2022年 3回 2023年 4回

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。